

「健康増進計画及び食育推進計画に関する平塚市民の健康意識及び食育推進のためのアンケート」に関する意見聴取結果について

全体の構成等について

| アンケート項目番号等   | ご意見等   | 反映  | 事務局 解説   |
|--------------|--|-----|--|
| アンケート回答依頼鑑文書 | 倫理的配慮に関する記載がない（目的外使用はしない、個人を特定しない、回答をもって同意とする、など）                  | 一部○ | 「目的外に使用することはありません。」「回答した方の個人を特定することはありません。」という文言を追加します。                                    |
|              | 全体的に見にくい。行間、フォント、文字など工夫した方がよい。                                     | ○   | 鑑文書全体の構成を変更しました。   |
|              | 回答期限がもっとわかりやすいように工夫した方がよい。   |     |  |
|              | インターネット回答利用ガイドの文言が欠けている部分がある                                       | ○   | 修正します。   |
| 調査票 選択欄      | 横書きの場合は、各問の選択肢も横に1,2,3・・・と並んでいた方が見やすいのではないか。（現在は縦に1,2,3・・・となっている。） | ×   | 電子申請システム回答と併用したアンケート実施のため、デジタル推進課実施のアンケート用紙を参考としました。電子申請システムでは回答項目が縦書きとなるため、書面でも縦書きといたします。 |
| 全体を通じて       | 漢字のルビは丁寧と感ずる反面、判読しにくいが必要か。   | 一部○ | ルビ付きで表記いたしますが、ルビのフォント等にばらつきがあった部分を訂正いたします。   |
|              | ルビのフォントがいろいろあります。  |     |  |
|              | 「注」や「例」に（ ）や などを付けた方わかりやすい   | 一部○ | （ ）をつけて修正します。  |

質問票・用語解説について

| アンケート項目番号等   | ご意見等  | 反映         | 事務局 解説  |
|--|---|------------|---|
| <p>調査票 【問1】<br/>お住まいの地区をお答えください。</p>                               | <p>中原下宿が一つの地区として独立しているのは理由があるのか。中原地区に含んで問題ないのではないか。</p>                 | <p>一部○</p> | <p>次期計画は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」や、壮年期の健康増進事業について、「平塚市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導実施計画 データヘルス計画」とともに進捗していきます。そのため、国民健康保険被保険者の健診等情報源を一元化した「KDB(国保データベースシステム)」の抽出ができる地区割に合わせて設定しています。<br/>地区割表にその旨を簡易表記いたします。</p> |
|  | <p>住まいの地区というのは、公民館が近くにある地区ということでしょうか。旭北と旭南では、自分はどちらになるか把握できているのですか。</p> | <p>○</p>   | <p>用語解説紙面に、地区一覧表を掲載します。</p>   |
|  | <p>住まいの地区について、地域活動をしていない一般の住民は選択ができないのではないか。</p>                        |            |   |
| <p>調査票 【問2】<br/>あなたの性別をお答えください。</p>                                | <p>主観により「1」または「2」と回答する方もいるのでは。</p>                                      | <p>×</p>   | <p>「選択された番号」を回答とします。</p>  |
| <p>調査票 【問11】<br/>お酒を飲む頻度はどれくらいですか。</p>                             | <p>飲酒頻度が細かく分かれている部分から、「ほとんど飲まない」になる。「月1回」程度だと「時々飲む」などがあるとよい。</p>        | <p>○</p>   | <p>平塚市特定健診質問票と合わせた回答項目に変更します。</p>   |
| <p>調査票 【問27】<br/>朝・昼・夕食で「野菜やいも、海藻、きのこなどの野菜が主に入る料理」をどのくらい食べますか。</p> | <p>「野菜やいも、海藻、きのこなどの野菜が主に入る料理」「野菜やいも、海藻、きのこなどが主に入る料理」の方が読みやすいと感じました。</p> | <p>○</p>   | <p>修正します。【問31】へ移動</p>   |
|  | <p>野菜1皿分の目安量がわかりにくい。</p>  | <p>○</p>   | <p>(参考)に目安量の説明を追加します。【問31】へ移動</p>   |

| アンケート項目番号等  | ご意見等   | 反映 | 事務局 解説  |
|---|--|----|---|
| 調査票 【問29】<br>どのようなことに気を付けていますか。   | 選択肢への追加「栄養成分表示を見比べて塩分の少ない方の食品・料理を選ぶようにしている」<br>外食・中食を利用されている方でも塩分の低い料理を選択するよう心掛けている方もいると感じたためです。 | ○  | 選択肢に追加します。【問33】へ移動  |
|   | 選択肢「中食」にアンダーラインがない。  | ○  | 修正します。【問33】へ移動  |
| 調査票 【問30】<br>食生活についてあなたが「日常的に取り組んでいること」、「知識や技術を習得したいこと」の内容にそれぞれ○をつけてください。 | 回答項目に「9.その他(具体的に)」を追加してはどうか。   | ○  | 選択肢に追加します。【問36】に移動  |
|   | 問の記載「知識や技術の習得」を回答覧にある「知りたい・体験したい」に合わせた方がよい。  | ○  | 修正します。【問36】に移動  |
| 調査票 【問32】<br>「村井弦斎」という人を知っていますか。  | 「村井弦斎」という人を知っているだけでなく、「食道楽」を書いた「村井弦斎」という人を知っていますか?とか、出版した本を読んだことがあるか?など、少し踏み込んだ質問をするのでは。         | ×  | 第2次平塚市食育推進計画「基本施策(6)の食育推進指標「食育を唱えた村井弦斎の認知率の増加」を進捗するための調査項目として、第2期策定及び中間アンケートの質問内容と同一とします。【問26】へ移動 |
|   | この設問から何を導き出したいのか明確になっていないのであれば、削除しても良いと考えます。もちろん狙いがあるのであれば、そのまま設定いただいて良いと思います。                   |    |   |
| 調査票 【問35】<br>農水産物を購入する際、地元産のものを優先したいと思いますか。                               | 問の記載「農水産物」を「野菜・果物・魚介類」など平易な言葉にした方がよい。  | ○  | 修正します。 【問34】へ移動   |

| アンケート項目番号等 | ご意見等  | 反映 | 事務局 解説  |
|------------|---|----|---|
| 用語解説       | <p>適正体重 標準体重も同じ計算式では？<br/>健康日本21に合わせたのであれば、その旨を記載した方が良いのではないか。</p>  |    | <p>ご指摘のとおり、標準体重と同じ計算式です。「適正体重」としたのは、第二次健康日本21の栄養・食生活の目標項目に「適正体重を維持している者の増加」とあり、適正体重を「身長(m)]2×22」を標準(BMI=22を標準とする」と記載されているため同じ表記に合わせました。用語解説にその旨を記載いたします。</p>  |
|            | <p>印が【参考資料】で説明されていますが、回答の中にそのことについての知識を問うものが多く含まれます。回答に影響を及ぼすと考えられますので、【参考資料】からあえて除外するか、質問自体を修正するか、いずれかの対応が必要かと思えます。</p>  | ×  | <p>印が付いている語句は「オーラルフレイル」や「COPD」など、言葉や意味を尋ね、認知度を把握する目的の設問になっています。市民アンケートは市民の意識調査の他に、市民への普及啓発も兼ねているととらえております。したがって、現在の内容でまとめて説明したいと考えます。</p>   |
| 追加項目       | <p>健康意識ということで、把握をしていく必要があるものとして、携帯電話いわゆるスマートフォンについての項目があってもいいのかと思えます。現在、小学生の児童から中学、高校生はもとより、大人までスマートフォンの所持率は90%を超えている状況です。一日のうちどの程度の時間を見ているのか、操作をしているのかなど、把握する必要はありませんか。目の疲れや視力の低下など影響が考えられますが、今後の健康意識の指導にかかわっていくことが求められてくるのではないのでしょうか。</p> | ×  | <p>健康増進計画の基本となる第二次健康日本21では、健康の増進に関する方向性として眼の健康や健康への影響に係る項目は設けられていません。しかし、「平塚子育て応援プラン(第2期平塚市子ども・子育て支援事業計画)」の中で、幼児(1歳6か月、3歳、5歳)の一日2時間以上スマートフォンやタブレットを使用する割合を把握しております。そして、幼児健診等を通し保護者に対し、子どもの言語や情緒の発達に影響を及ぼす観点から、適正な利用を指導しております。</p> |